

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	心身の発達	担当者名	橋爪 直美(実務家教員)
授業の概要	成長・発達の観点から老化を理解し、老化に関する身体機能の変化及び精神的変化とその特徴に関する基礎的な知識を習得する。また、高齢者に多い疾病や老化に伴う機能低下が及ぼす日常生活への影響などを理解し、その留意点を学び、生活支援技術の根拠や保健医療職との連携について習得を図る。				
科目の到達目標	1. 高齢者の身体的機能・知的機能の変化の特徴と日常生活にどのように影響しているかを理解することができる。 2. 高齢者に多い病気についてその原因や特徴について理解できる。 3. 保健医療職とチームケアを行う意義を理解し、連携のポイントについて学びを深める。				
DPの観点	②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション力 ⑥幅広い教養				
授業時間外学修(予習・復習)	毎回の授業内容について該当するテキスト箇所を予習(30分程度)し、授業終了後はテキストおよび授業内容配布資料等、適宜復習(30分程度)行うこと。				
フィードバックの方法	教務課より期末レポート及び期末試験の結果が返却される。				
単位認定の要件	毎回の授業への意欲的参加をし、積極的かつ真面目に取り組んでいるかを重視する。総合評価(期末試験、期末レポート、授業内活動)が定められた基準に達していることが単位認定の条件である。				
評価の方法・割合(%)	期末試験60%、期末レポート10%、授業内活動30%				
履修上の注意事項	毎回テキスト、配布プリントを持参してください。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			人間の成長と発達の理解(生命誕生から各期の生理的発達について)	②⑥	リフレクションシート
2			老年期の発達と成熟、課題について	②⑤	リフレクションシート
3			老化に伴う身体的機能の変化	②④	リフレクションシート
4			老化に伴う日常生活への影響	②④	リフレクションシート
5			老化に伴う知的機能の変化(加齢により低下する機能と維持向上する機能について)	②⑤	リフレクションシート
6			高齢期の健康とは(個人差があることへの理解)	⑤⑥	リフレクションシート
7			高齢者に多い症状について(疾患の特徴)	②	リフレクションシート
8			高齢者に多い病気とその留意点①(三大生活習慣病:脳血管疾患・がん・心疾患)	②⑤⑥	ワークシート記入
9			高齢者に多い病気とその留意点②(高血圧・糖尿病・脂質異常症等)	②⑤⑥	ワークシート記入
10			高齢者に多い病気とその留意点③(骨・関節系疾患)	②⑤⑥	ワークシート記入
11			高齢者に多い病気とその留意点④(口腔・目・耳・皮膚の病気)	②⑤⑥	ワークシート記入
12			高齢者に多い病気とその留意点⑤(呼吸器・腎泌尿器・婦人科系・消化器系)	②⑤⑥	ワークシート記入
13			高齢者に多い病気とその留意点⑥(循環器・脳神経系・精神疾患・特定疾病)	②⑤⑥	ワークシート記入
14			感染症の特徴と対応について	②⑥	ワークシート記入
15			保健医療職との連携	②④⑤⑥	レポート記入と授業振り返り
期末試験			期末試験(まとめ)		

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座11巻「発達と老化の理解」(中央法規出版)編集 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	「新・介護福祉士養成講座」16巻「資料編」7版(中央法規出版)
備考	本授業は、看護師・助産師としての実務経験を生かした授業である。

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--